

記録的な大雪となった厳しい冬もようやく終わりに近づき、明るい春の兆しが、そこここに感じられるようになりました。冷たい空気の中にも、太陽の輝きや、空気の明るさは確実に増し、春の訪れが間近いことを感じさせます。

本日、卒業式を迎えた、市立札幌旭丘高等学校 第62期卒業生309名の皆さん、卒業おめでとうございます。

また、卒業式に際し、

PTA会長 豊岡 亜紀 様

紫翠会理事長 舛 和順 様

紫雲会会長 山本 清和 様

をはじめ、ご来賓の皆様にご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

卒業生の皆さん、これからの社会は、変化が激しく、不確実で予測の付かない社会であると言われております。これから、その一員として社会へ一歩を踏み出していく皆さんに、今日、私がお伝えしたいことが二つあります。一つ目は、正解のない課題に向き合うことや、どうしたらいいか悩みながら、試行錯誤して進んでいくことを、恐れなくてほしいということです。正解がないということは、不安なことです。どうすればいいか悩み続けるのは苦しいことです。もし間違っていたらそれを認めて改めるには謙虚でなければなりません。しかし、よく考えた結果一番納得できるやり方でやってみて、違っていたらそこを修正する、という方法は、未来を切り開いていくためのただ一つの方法なのです。

二つ目は、皆さんには仲間がいるということです。正解のない課題に取り組むことは大変なつらいことだと思うかもしれませんが、その時に、一緒に考え一緒に挑戦する仲間がいれば、話は違います。仲間とともに力を合わせて難しい課題にチャレンジすることは、むしろワクワクするやりがいのあることです。そして、これらのことは、皆さんが高校時代にすでに経験して知っていることであり、それに自信を持ってほしいと思います。

皆さんの高校生活には、それぞれにいろいろな思い出があると思いますが、特に昨年度と今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、学校生活が大きな影響を受け、行事や部活動などは、コロナ以前に思い描いていたとは異なる状況になってしまいました。しかし、この困難な状況の中でも、皆さんは、私たち大人よりもむしろ巧みに、力を合わせてこれを乗り越えてきました。例をあげれば、昨年3月のゼミ旅行です。先の読めない中で当初の実施時期を延期し、先生方はもちろん、旅行会社や宿泊施設など関わってくれたすべての人たちが、なんとか皆さんによりゼミ旅行を経験させたいと願いました。皆さんはそれに支えられつつも、一人ひとりが自分たちのゼミ旅行を成し遂げるために、自らの健康管理と感染対策を徹底し、人任せではない自分たちの旅行を楽しむことができました。また、7月の学校祭では、困難な状況や厳しい制限があっても、それを理解して受け入れ、その上でどうしたらいいか工夫をして、可能なやり方を考え、ルールを作りそれを守って、みんなで協力して新しい学校祭を作り上げました。

そうやって学校生活を一つ一つ積み上げてきた皆さんの姿は、本当に立派だったと思います。学校行事で

も部活動でも、皆さんが1年次の時に経験したことを後輩たちに伝えていくことは、今まで通りにすればよい、という単純なことではなく、新しい状況に合わせて、新しい伝統を作っていかなければならないのですから、とても困難な、正解のない課題でした。その課題に向き合い、役割を見事に果たした皆さんは、三年間の高校生活を通じて、例年の卒業生にも増して、大きな学びの成果を得ることができたと思います。

その過程で、皆さんは、困難な問題も、自分一人ではなく、仲間と一緒に、考え、取り組んできました。仲間がいることの心強さ、多様な考え方に触れながら自身の考え方も深めていく喜び、苦勞しながらも共に一つのことをやり遂げたときのうれしい気落ちを、経験して知っているということは、きっとこれからの皆さんの支えとなることと思います。

これから皆さんが歩む人生も、決して平坦な道ばかりではなく、予想もしない坂道に直面することもあるでしょう。しかし、皆さんが高校で、特にこの2年間で学んだこと経験したことが、その坂を越えんとする時にきっと役に立つはずだと信じています。そして、皆さんが旭丘高校でそうであったように、仲間を信頼し、お互いのよいところを引き出して支え合っていくことで、共に坂道を越えることを楽しむことも、きっとできると思います。皆さんの人生が豊かに重ねられ、幸せな未来社会を築いていくことにつながるよう願っています。

保護者の皆様、お子様の高校ご卒業、誠におめでとうございます。今日までの十八年間、深い愛情をもって育ててこられたお子様の成長を振り返る時、そのお喜びはいかばかりでありましょうか。

三年間、本校の教育活動に、保護者の皆様の深いご理解とご支援を賜り、本日に至ることができましたことに、心より感謝申し上げます。併せて、本日は教室から会場の様子をご覧いただく形で式にご参加いただきましたが、至らない点もあったかと思いますが、ご理解とご協力を賜りましたことに御礼申し上げます。

最後に、ご多用にもかかわらず、この会場と教室で、卒業式にご臨席賜りました皆様方に、重ねて感謝申し上げます、私の式辞といたします。

令和4年3月1日

市立札幌旭丘高等学校長 林 恵子